

Ⅲ 海外交流事業

1) 英語英文学科

米国カリフォルニア州立大学ロングビーチ校での海外英語演習

引率教員：英語英文学科 専任講師 古東佐知子

期 間：平成30年8月30日～9月13日

渡 航 先：アメリカ合衆国カリフォルニア州ロングビーチ

参加人数：32名

本演習は、ロサンゼルス以南に位置するカリフォルニア州立大学ロングビーチ校 (California State University, Long Beach) における、語学演習プログラムとして展開された。およそ半月の期間中、学生達はそれぞれアメリカの家庭にホームステイをしながら、カリフォルニア州立大学に通学し、英語のコミュニケーションやアメリカ文化を学んだ。研修内容は、語学学習だけにとどまらず、アメリカの文化や歴史なども含まれ、参加学生たちは勉学に対して大いに刺激を受けることが出来たようだ。

また滞在中、本学引率教員とともにアメリカの高校を訪問し、さらにカリフォルニア州立大学の授業に参加しながら、岐阜文化や日本文化をプレゼンなどで紹介した。授業では、鵜飼や岐阜ゆかりの映画作品、岐阜の特産品なども紹介することができ、国際交流をする貴重な機会に恵まれた。

本演習を通じて、参加者たちはアメリカの生活のありようや、外国で勉強することはどういうものなのかなどを知ることができ、非常に有意義な研修となった。



2) 国際文化学科

海外言語・文化演習（韓国）

引率教員:国際文化学科 教授 王武雲

期 間:平成 30 年 8 月 16 日～8 月 23 日

渡 航 先:韓国(慶州・釜山・安東)

参加者数:16 名

国際文化学科の学生(16名)は8月16日～8月23日韓国の慶州市に滞在し、威徳大学日本語学部と国際交流課から全面的な協力を得て、生の韓国語のほかに、ホームステイや韓国食文化なども体験ができた。

1日目と最終日の8日目は日本と韓国の往復、2日目は世界遺産として登録されている安東河回村を見学し、仮面劇も鑑賞した。3日目から5日目までは午前中は韓国語の授業を受けて、午後は市内博物館の見学や研修先の大学生と一緒に韓国料理作りも挑戦した。日韓両国大学生の交流会では、研修先の大学生が日本の歌や演劇などを披露してくださった。本学科の学生は日本の歌を歌ったり日本の文化を紹介したりして、日韓文化交流と理解を深めた。6日目のお昼からは釜山へ移動し、7日目にかけて、釜山の繁華街や古い町などを巡って、肌で韓国の歴史や文化を体験した。

この研修を通して、習得した韓国語能力が高まり、韓国の文化や習慣などに直接触れることができ、学生の視野を広げるいいチャンスとなった。



海外言語・文化演習（中国語圏）

引率教員：国際文化学科 准教授 村中 菜摘

期 間：平成30年8月27日～9月3日

渡 航 先：台湾（台南、台北）

参加人数：15名

研修初日は、台北桃園国際空港到着後、台湾新幹線で台南へ移動、2日目から4日目までの午前中は中国語の授業を受講、午後は長榮大學応用日語學系の交流会への参加や、台湾南部の名所旧跡見学を行った。5・6日目の2日間はホームステイおよびフィールドワークを行い、参加学生がそれぞれ設定したテーマに沿って、長榮大學の学生さんの助けを借りつつ、台湾の生活や文化について調査した。7日目は台北へ移動し、8日目にかけて、台北市内の名所旧跡を見学し、南部とは異なる台北北部の文化に触れることができた。この度の研修を通じ、参加学生は普段の授業で習得した中国語を実際に用いる機会を得たと同時に、現地で覚えた言い回しを用いて会話できた時の喜びを味わった。さらに、心があれば言葉に自信がなくとも素晴らしい交流が可能であることを学ぶ好機ともなった。



海外言語・文化演習（英語圏）

引率教員：国際文化学科 専任講師 荒木隆人

期 間：平成 30 年 9 月 5 日～9 月 14 日

渡 航 先：アメリカ合衆国ワシントン州ポートエンゼルス

参加者数：11 人

2018 年度の国際文化学科の海外言語・文化演習（アメリカ）は 9 月 5 日から 9 月 14 日まで、アメリカ合衆国ワシントン州ポートエンゼルスのペニンシュラカレッジで実施された。参加者は 11 名であった。毎日午前中は英語の授業、午後は英会話体験を通じてのグループ発表などの実践的英語学習に取り組んだ。また、ポートエンゼルスの小学校訪問では現地の小学生に日本文化を英語で紹介する機会ももった。このように、本研修では終日、学生たち自身で英語を用いてコミュニケーションを取る場が与えられ、大いに英語に触れた日々となった。その中で、英語学習の修了証書の授与式が行われ、本研修中に積極的に学んだ姿勢を評価されたことで、学生にとって大きな励みになった。



ペニンシュラカレッジにて

3) 生活デザイン学科

イタリア（ミラノ・ヴェネツィア・フィレンツェ）での海外研修及び フィレンツェ市のファッション服飾専門学校「ポリモーダ (Polimoda)」への訪問

引率教員：生活デザイン学科 専任講師 坂本 牧葉、准教授 中谷 友机子

期 間：平成31年2月14日～2月21日

渡 航 先：イタリア ミラノ、ヴェネツィア、フィレンツェ

参加者数：生活デザイン学科1年生25名

第1日目：2月14日（木）

中部国際空港に集合し、フランクフルト経由でミラノ・マルペンサ空港に到着した。

第2日目：2月15日（金）

午前中はスカラ座（外観）、鉄とガラスの美しい建築のギャラリー、ゴシック建築のドゥオモを見学した。昼食後、サンタ・マリア・デッレ・グラッツィエ教会の『最後の晩餐』を鑑賞した。

第3日目：2月16日（土）

午前中、18世紀当時の絵画500点を超える作品を収集しているブレア美術館を鑑賞した。その後はヴェネツィアへ移動し、ゴンドラ遊覧クルーズに参加した。

第4日目：2月17日（日）

レース博物館ではレース製作のプロセスを学んだ。ムラーノ島ではガラス博物館の見学し、その後、サンマルコ寺院・ドゥカーレ宮殿の内部を見学した。

第5日目：2月18日（月）

ヴェネツィアからフィレンツェに移動し、午後は自由に市内を散策した。

第6日目：2月19日（火）

ポリモーダ服飾専門学校を訪問し、学内、教室、工房、図書館などを詳細にご案内いただいた。学生作品や制作過程なども見学させて頂いた。午後からミケランジェロ広場、ウフィッツィ美術館を見学した。

第7日目：2月20日（水）・第8日目：2月21日（木）

フィレンツェからフランクフルト経由で中国際空港に帰着した。



The 4th International Engineering Design Challenge in Akita

引率教員：生活デザイン学科 専任講師 坂本 牧葉

期 間：平成 31 年 3 月 12 日～3 月 17 日

渡 航 先：秋田県秋田市・仙北市

参加者数：生活デザイン学科 1 年生 2 名

科研プロジェクト「エンジニアリングデザイン教育のための領域横断型 PBL 授業設計支援システムの開発 (15K00486)」のプロジェクトとして、国際工学デザインワークショップ (IEDC) を開催した。4 回目の開催となる今年は、秋田市を中心に開催した。国内からは本学のほか秋田公立美術大学、室蘭工業大学で美術や工学、デザインを学ぶ学生たちが参加した。海外からはタイのチェンマイ大学、ナレスアン大学、台湾の国立台中科技大学から流通やコンピュータサイエンスを学ぶ学生たちが参加した。参加者たちは「伝統工芸と IoT」というテーマに対して、グループで提案と制作に取り組んだ。銀線細工や編組品など、秋田の伝統工芸に関する講義を受けたり、IoT に用いるコンピュータやセンサーの扱い方のレクチャーを受けたりした。そして各グループで伝統工芸の良さと IoT の利点を生かした財布や襖などのアイデアを話し合った。それらのアイデアをコンピュータ、布や紙、粘土や板などを使ってモックアップを制作し、発表した。各学生の専門性や人柄がコミュニケーションを通して強いチームワークを生み出し、提案が導き出されていた。

